

ELECTRONIC PIANO

YP-10

取扱説明書

YAMAHA

ごあいさつ

このたびはヤマハエレクトロニックピアノYP-10をお買
い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
YP-10は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の
技術を駆使してつくりあげた鍵盤楽器です。リアルなピア
ノ音色、どなたでも気軽にコード伴奏ができる自動伴奏
装置。さらに、ステレオシンフォニック機能により左右のスピ
ーカーから優れた音質で演奏をお楽しみいただけます。
本書では、このYP-10の正しい取扱い方をご説明して
います。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

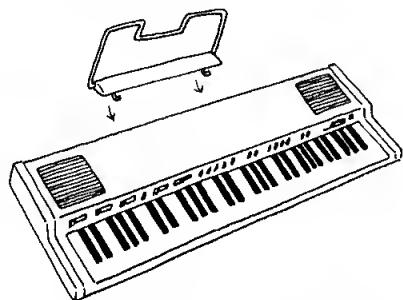
目 次

	ページ
ご使用の前に	1
各部の名称とはたらき	2
音色とリズム	4
オートベースコード	5
付属端子とオプション	6
このような現象は故障ではありません	7
仕様	8
アフターサービスと保証	9

ご使用の前に

長くお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

- ①付属の譜面立ては、楽器の背にある2つの穴に、その両端を差しこんで使用してください。

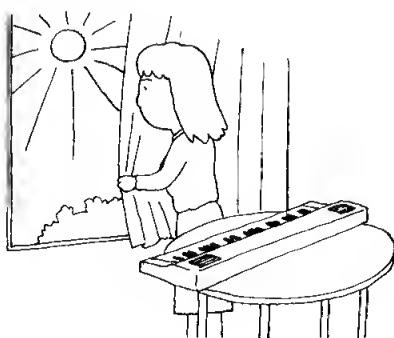


- ②YP-10には、本体の各部の名称が和文で書かれたシートがついています。和文の方が便利という方はシートに両面テープが貼附してありますので、本体に貼ってお使いください。

- ③YP-10の電源には、必ず家庭用AC100Vの電源コンセントを使用してください。また、コンセントから抜くときは、コードをひっぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

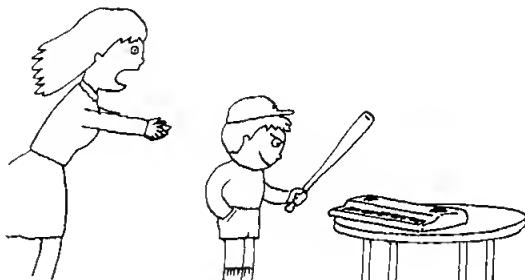
長く使わない時や雷の鳴っている時はプラグを抜いてください。

- ④直射日光が当たったり、暖房器具のそばなど極端に暑い場所に置くことはさけてください。本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。



- ⑤特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。

- ⑥過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落したり、上に座ったりしないように注意してください。



- ⑦本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よごれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。
アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。
また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。



- ⑧ホコリなどからの保護のために、ご使用後は付属のトップカバーをご利用ください。

- ⑨ご使用後は、必ずパワースイッチを切ってください。



電子ピアノとは

アルペジオ用ボリューム

アルペジオの音量を調節するレバーです。リズムまたはオートベースコードをセットした時、ボリュームを上げると自動的に分散和音が得られます。

オートベースコード

押された和音により自動伴奏をさせるボタンです。

リズム用ボリューム

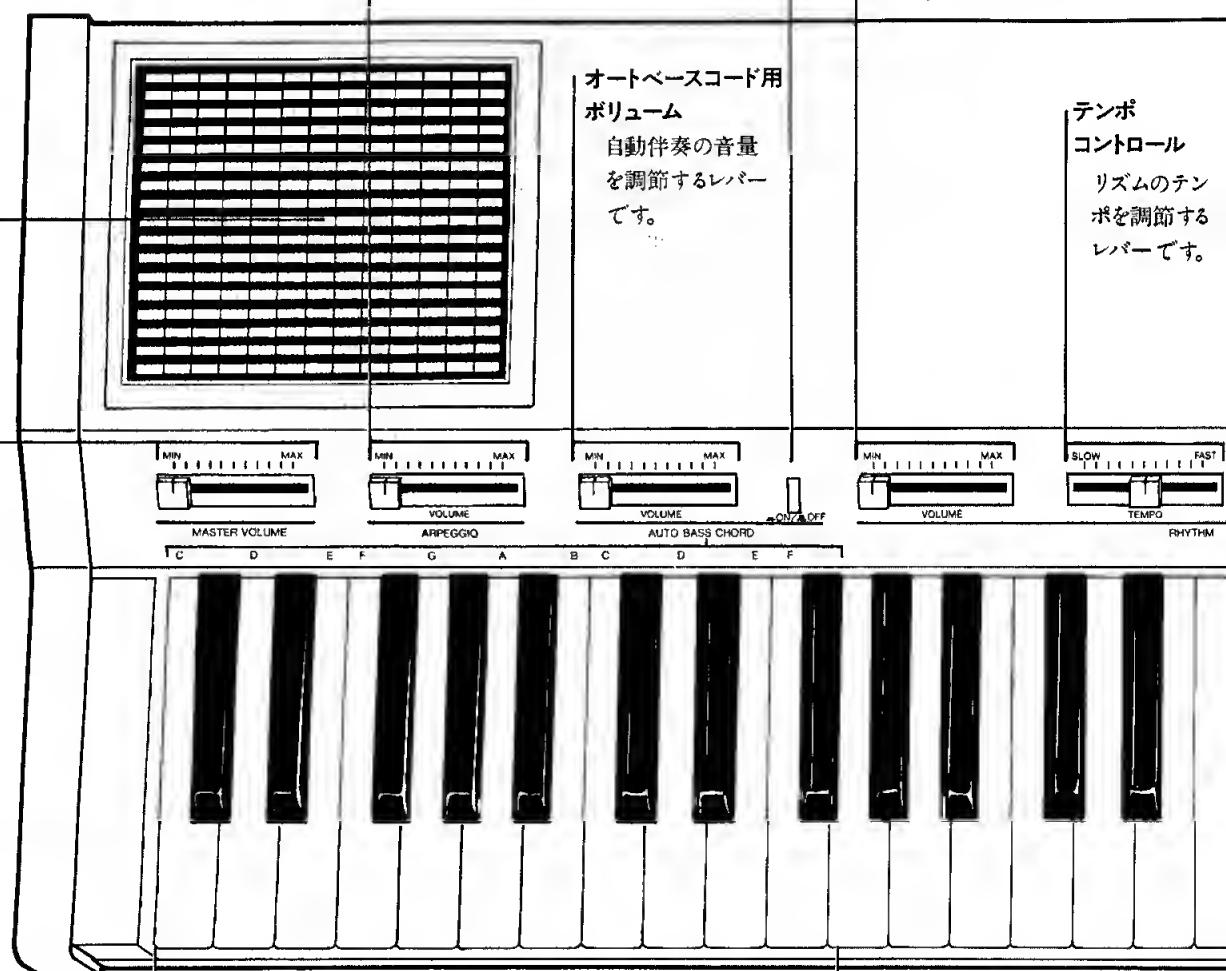
リズムの音量を調節するレバーです。

テンポ
コントロール
リズムのテンポを調節するレバーです。

スピーカー

マスター ボリューム
全体の音量を調節するレバーです。

オートベースコード用
ボリューム
自動伴奏の音量を調節するレバーです。



オートベースコード用鍵盤部

シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。もう1度押すとストップします。

スタート

リズムのスタート・ストップをさせるボタンです。

音色セレクター

音色を選ぶボタンです。どのボタンも押されていない場合は、音がでません。

リズムセレクター

リズムを選ぶボタンです。右端の上下セレクターにより、8種類のリズムを選びます。

サスティン効果

音色に自然な余韻をつけるボタンです。

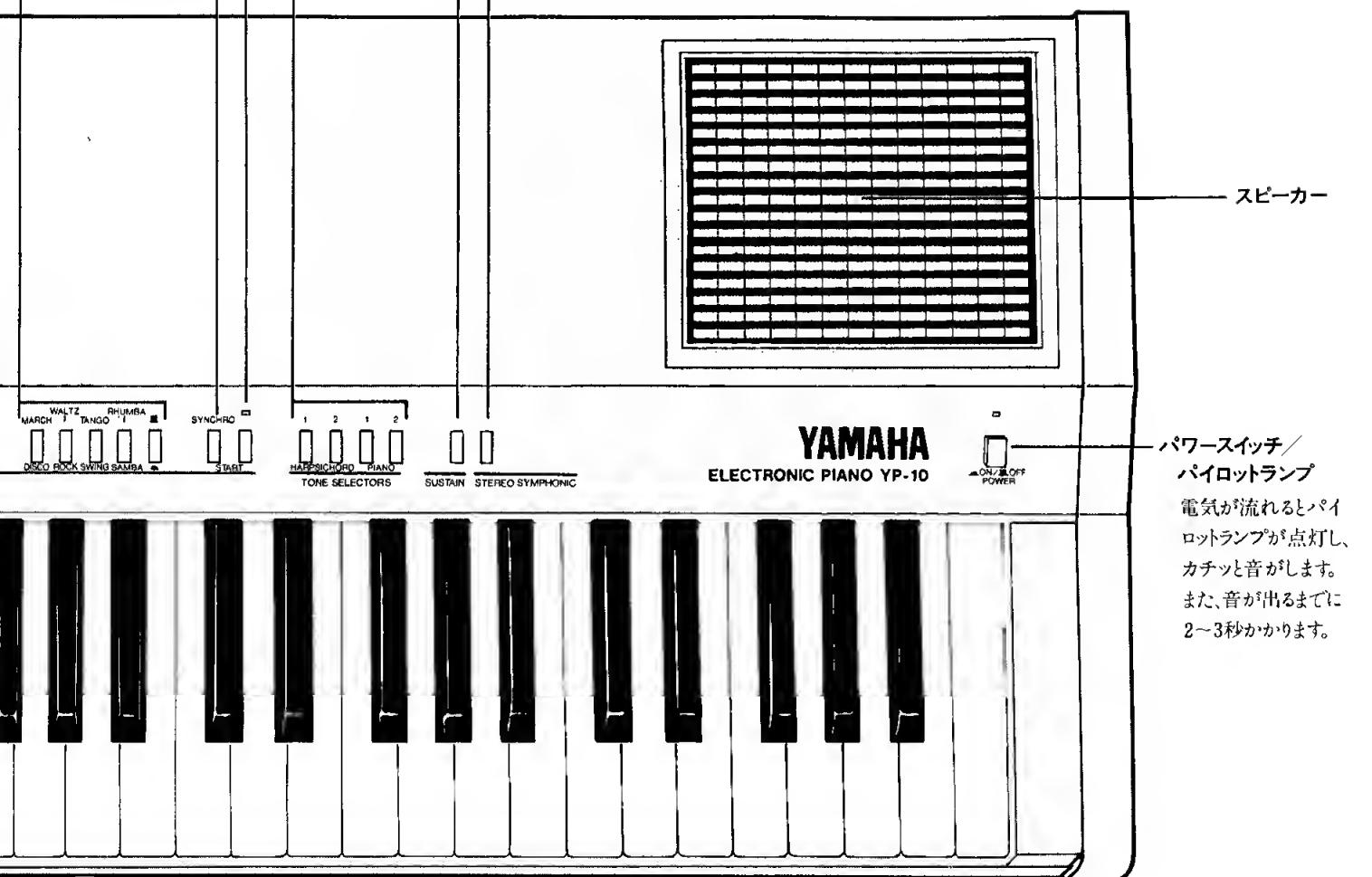
ステレオシンフォニック

モノラル↔ステレオの切換ボタンで、コーラス効果をかけることができます。

スピーカー

パワースイッチ／パイロットランプ

電気が流れるとパイロットランプが点灯し、カチッときます。また、音が出るまでに2~3秒かかります。



音色とリズム



好きな音色で弾いてみましょう。

①音色セレクターから好きな音色を選びます。

★音色セレクターがすべてOFFの場合、音はできません。

★同時に2つ以上ONすると、右側の音色が優先します。

②マスター・ボリューム・レバーで、音の大きさを調節。

さあ、鍵盤をおさえてみましょう。

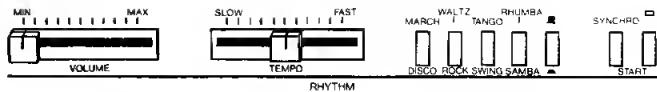
選んだ音色がでてきたことだと思います。音色を変えていろいろなメロディーを弾いてみましょう。

③ステレオ・シンフォニックを加えてみましょう。

音に拡がりが出るコーラス効果が得られます。

④サステインを加えてみましょう。

サステインというのは、音に余韻を与える効果です。鍵盤から指を離したあとも音が残って、自然に消えています。



リズムを加えて。

①曲に合ったリズムを選びます。

★それぞれのボタンの上下に、2つのリズム名が書かれています。右端の上下セレクターで上・下いずれかをお選びください。

★ワルツは3拍子、そのほかのリズムは4拍子です。

★2つ以上同時に押した時は、右側のリズムが優先します。

★リズムセレクトがすべてOFFの場合、リズムは鳴りません。

②スタートをON。

スタートのボタンを押すと、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

〈シンクロスタートをON〉

オートベースコード用鍵盤部を押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

★リズムを止めたいときは、押したスタートのボタンをもう一度押してください。

★スタートとシンクロスタートを両方とも押したときは、スタートが優先します。

③テンポレバーで、リズムの速さを調節。

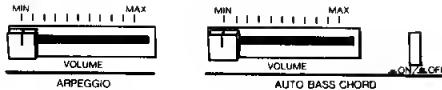
●テンポランプ

リズムの速さを示すランプです。リズムを鳴らしているとき、リズムの第1拍目に赤く点滅。また、シンクロスタートボタンの場合は、リズム音が鳴っていない時4分音符の単位で点滅します。

リズムに合わせてメロディーを。

それではリズムに合わせてメロディーを弾いてみましょう。

オートベースコード



オートベースコードで自動伴奏を。

オートベースコードは、和音を押さるだけで、リズムにのった和音とベース音による自動伴奏ができる装置です。

①曲に合ったリズムをセットします。

②オートベースコードのボタンをON。

③オートベースコード用鍵盤で和音を押さえます。

押された和音とベース音がリズムにのって出でてきます。

④オートベースコード用音量レバーで伴奏音の大きさを調節。

●オートベースコードの伴奏で、「オプラディ・オプラダ」を弾いてみましょう。



Medium Fast

「オプラディ・オプラダ」

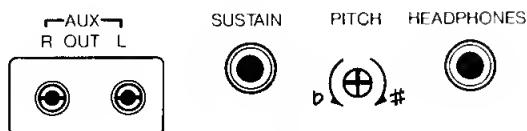
J.レノン、P.マッカートニー 作曲



© Copyright 1968 for the World by NORTHERN SONGS LTD., London, England
Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo
Authorized for sale in Japan only
日本音楽著作権協会(出)許諾第8214016号

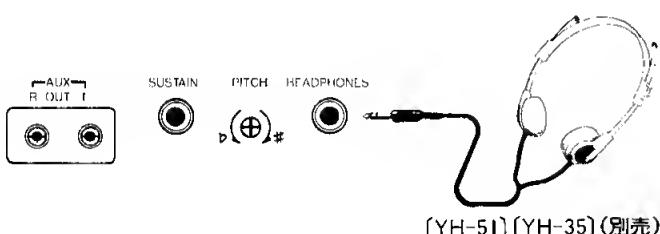
外端子について

YP-10の本体背面には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、楽しさはいっそう広がります。



① HEADPHONES端子

ステレオヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



②ピッチコントロール(PITCH)

他の楽器とアンサンブルをする時など、音程を微妙に調整できます。

③SUSTAIN端子

サスティンペダルを接続する端子です。演奏中、部分的にサスティンをかけたい時、本体のサスティンスイッチを入れた上で、サスティンペダルによりON・OFFを行うことができます。

オプション(別売)

●サスティンペダル[FC-5]



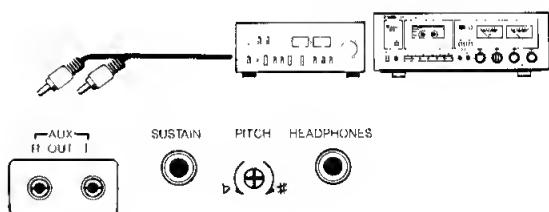
④AUX OUT端子

A.より豊かな音質で。

YP-10は、内蔵のスピーカーでも充分な音量でお楽しみいただけますが、パーティーや戸外での演奏など、より大きな音量が必要なときには、このAUX OUT端子を使って、アンプなどに接続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。また、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときにも、この端子を使います。ステレオなどのAUX IN端子に接続してください。

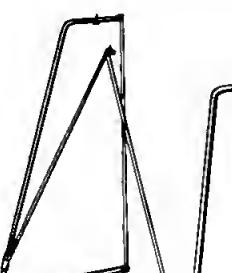
B.演奏を録音

YP-10の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE IN端子に接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整してください。

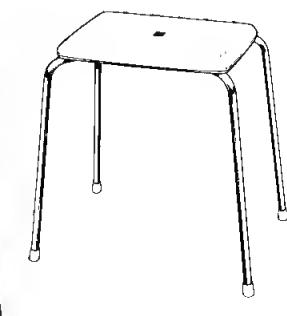


オプション(別売)

●スタンド[L-2]



●イス[BC-3]



このとき何が起こるか、何をどうすればいいか

操作		
音色セレクターで選んだ音色とは別の音色が出る。	オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	オートベースコードを使っている場合、オートベースコード用鍵盤部の音色は、選んだ音色と関係ありません。
鍵盤を同時に11音おさえても10音しかでない。	同時に10音までしか出ないようになっています。	先におさえた鍵盤を優先します。
リズムの音が出ない。	①リズムセレクターがどちらも押されていない。 ②スタートボタンがどちらも押されていない。 ③シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ④リズム用ボリュームが最小になっている。	4ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセレクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	上・下セレクターを操作していない。	4ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
音色セレクター、またはリズムセレクターを2つ入れても、1種類しか出ない。	音色、リズムは、それぞれ一度にひとつしか選べません。	同時に2つ以上入れた場合は右側が優先します。
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	①オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ②オートベースコード用ボリュームが最小になっている。 ③リズムがセットされていない。	5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードを使っているとき、音色は、鍵盤を同時に5音おさえても4音しか出ない。	オートベースコードを使っているとき、音色は、同時に4音までしか出ないようになっています。	先におさえた4音が優先します。
アルペジオの音が出ない。	①リズムまたはオートベースコードがセットされていない。 ②アルペジオ用ボリュームが最小になっている。	5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
サスティンペダル（オプション）を接続しているとき、オードベースコード用鍵盤部から指を離すと自動伴奏が消えてしまう。	サスティンペダル接続時には、オートベースコードのメモリー機能がはたらかないため。	①サスティンペダルを踏んでください。 ②サスティンペダルを抜いてください。

仕様

■鍵盤

一段鍵盤 61鍵 C1~C6

■音色

ハープシコード1

ハープシコード2

ピアノ1

ピアノ2

■音色コントロール

サステイン

ステレオシンフォニック

■リズム

〈リズムセレクター〉

マーチ/ディスコ

ワルツ/ロック

タンゴ/スイング

ルンバ/サンバ

上下セレクター

〈コントロール〉

シンクロスタートスイッチ

スタートスイッチ

ボリューム

テンポコントロール

テンポランプ

■オートベースコード

オンオフスイッチ

ボリューム

■アルペジオ

ボリューム

■その他のコントロール

マスター・ボリューム

パワースイッチ

バイロットランプ

ピッチコントロール

■付属端子

HEADPHONES 端子

SUSTAIN 端子

AUX OUT R・L 端子

■メインアンプ

5W×2(4Ω負荷)

■スピーカー

12cm×2

■定格電源

AC100V 50/60Hz

■消費電力

14.0W

■付属品

和文シート

譜面たて

トップカバー

■外装

本体仕上げ パネル・底板:エリオ鋼板

間 口 927mm

奥 行 355mm

高 さ 109mm(262mm)

重 量 12kg

注) ()内は譜面立てを取りつけた場合。

アフターサービス

●サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買上げ店、または右記のサービス網までご連絡ください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“このような現象は故障ではありません”的項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて社員が不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないでみます。)

〈お客様ご相談窓口〉

東京電音サービスセンター

☎(03) 255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●東京ステレオサービスステーション

☎(03) 255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●東京電音サービスステーション

☎(03) 255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●横浜電音サービスステーション

☎(045) 212-2223 〒231 横浜市中区本町6-61-1

●新潟電音サービスステーション

☎(0252) 43-4321 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーポールビル2F)

大阪電音サービスセンター

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●大阪ステレオサービスステーション

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●大阪電音サービスステーション

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●四国電音サービスステーション

☎(0878) 33-2233 〒760 高松市南新町6-1(岡田ビル2F)

名古屋電音サービスセンター

☎(052) 231-2432 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●名古屋電音サービスステーション

☎(052) 231-2432 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●北陸電音サービスステーション

☎(0762) 43-5341 〒921 金沢市泉本町7-7

●浜松電音サービスステーション

☎(0534) 56-9211 〒430 浜松市東伊場2-14-1

九州電音サービスセンター

☎(092) 472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●九州電音サービスステーション

☎(092) 472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●広島電音サービスステーション

☎(082) 874-3787 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

北海道電音サービスセンター

☎(011) 781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

●北海道電音サービスステーション

☎(011) 781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスセンター

☎(022) 22-6144 〒980 仙台市大町2-2-10(住友生命仙台青葉通りビル)

●仙台電音サービスステーション

☎(022) 96-0249 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター3F)

〈お預り品修理拠点〉

●東京電音サービスデポ

☎(03) 904-4901 〒171 東京都練馬区高野台2-3-10

●大阪電音サービスデポ

☎(06) 877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●名古屋電音サービスデポ

☎(052) 231-7896 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●九州電音サービスデポ

☎(092) 472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●北海道電音サービスデポ

☎(011) 781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

●仙台電音サービスデポ

☎(022) 96-0249 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター3F)

〈本社〉

営業技術課 電音サービスセンター

☎(0534) 65-1111 〒430 浜松市中沢町10-1



本 社／〒430 浜松市中沢町10-1
TEL 0534(65)1111

東京支店／〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL 03(572)3111

大阪支店／〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館
TEL 06(251)1111

名古屋支店／〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

九州支店／〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

北海道支店／〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL 011(512)6113

仙台支店／〒980 仙台市大町2-2-10
TEL 0222(22)6141

広島支店／〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F
TEL 082(221)4122

浜松支店／〒430 浜松市田町32/東京海上ビル
TEL 0534(54)4116